

下関市公立大学法人評価委員会による2020年度公立大学法人下関市立大学の業務実績に関する評価結果の
業務改善等への反映状況について

2022年5月

大項目	項目番号	評価結果（指摘事項）	反映状況
I 教育に関する 目標	5-1 (グローバル化への 関心の涵養)	新型コロナウイルス感染症の影響により、海外への渡航を制限されたこと及び学生の安全を考慮すれば、目標の達成は困難であったと思慮される。一方で、外国研修や留学が出来なかったことに対し、代替措置をオンライン等で実施し、留学説明会を開催したことは、評価できる。今後は、学生がキャンパスに居ながら外国語や異文化に触れ、学び、理解する環境づくりを引き続き行うとともに、新型コロナウイルス感染症が終息し、ワクチン接種等によって学生が安全に渡航することができると判断されるときは、海外研修や留学が速やかに再開できるよう支援を行うこと。	民間企業の教育的ノウハウを活かしたオンライン講座やスピーキング力向上を図る民間試験の導入、ファシリテーター役の留学生と学生とが外国語や異文化を学ぶ機会の創出のほか、オンラインによる海外協定校との「Information Session」を実施するなど、学生がキャンパスに居ながら外国語や異文化に触れ、学び、理解する環境づくりを促進するとともに学生のモチベーション向上に努めた。 また、海外研修や留学が速やかに再開できるよう、協定校との情報交換を継続し、関係の維持及び強化を図った。
I 教育に関する 目標	25-1 (ハラスメントによる 人権侵害の防止)	近年ハラスメントに関する法整備が進み、ハラスメント防止のための措置を講ずることが求められる。ハラスメントを防止するには、まずは学生や教職員がハラスメントを理解する必要があるため、適宜適切な講習の実施と支援体制の周知に努めること。	学生に対するハラスメント防止のための講習については、2021年4月に1年次のオリエンテーション時に実施した。役員、教員及び事務職員を対象としたハラスメント防止啓発講習会については、2022年2～3月に実施し、役員4名（100%）、教員50名（94%）、事務職員45名（94%）が受講した。 ハラスメント防止のためのリーフレット「ハラスメントのないキャンパスを」を作成し、ホーム

			<p>ページに公開した。また、役員・教職員に対しては、ハラスメント防止啓発講習会の中でリーフレットについて紹介し、学生に対しては、メールでリーフレットについて紹介した。</p> <p>2022年1月に実施した学生に対するハラスメントアンケートの結果では、ハラスメントの体制について「知っている」と回答した学生が83.8%という結果であった。</p>
IV 管理運営に関する目標	64-2 (安全管理体制の充実)	<p>新型コロナウイルス感染症の影響により、防災訓練等の対面式による防災意識向上の取組の実施は困難であったと思慮される。一方で、安全管理体制の充実を図ることは、人命に関わる重要なことである。今後は、オンラインや動画配信などの代替措置を検討することによって安全管理体制の充実を図ること。</p>	<p>新型コロナウイルス感染拡大を防ぐため、周辺自治会との合同防災訓練は中止したが、事務職員の防火・防災意識啓発のため、動画視聴形式の研修会を実施した。</p>
IV 管理運営に関する目標	65-1 (事業継続計画の策定)	<p>今般、新型コロナウイルス感染症が世界的に流行し、防止対策等が大きな問題となっている。また、地震、大雨をはじめとする自然災害も各地で起きている。そのような現状においては、被害を最小限に抑えつつ、事業の継続及び復旧を図るためにも事業継続計画（BCP）の策定こそ急務であると考え、早急に事業継続計画（BCP）の策定に着手すること。</p>	<p>危機管理委員会が中心となり、事業継続計画（BCP）を策定した。</p>